

# 板倉消防団だより

ITAKURA VOLUNTEER FIRE CORPS



重要文化財模擬火災訓練



## 本番さながらの住民避難訓練



## 避難訓練

令和5年7月9日に板倉町避難訓練が実施されました。私達第3分団の役割は、住民の方々が迅速かつ安全に移動できるよう、指定された箇所にて避難場所までの誘導を担当しました。多くの避難車両が事前に決められたおりに許可証をダッシュボードに掲示し、しっかりと誘導に従い、経路に沿ったルートで移動して訓練を終了する事が出来ました。

訓練を終え、参加された住民の方々の高い防災意識を感じました。消防団員として地域住民の方々の安全を守るために、改めて消防団の職責を再認識する事が出来ました。

(執筆：第3分団)

## 士気の高揚を図る秋季点検



## 秋季点検

令和5年10月29日に、館林地区消防組合の秋季点検が明和町ふるさとの広場にて開催されました。

今年は諸事情により、ポンプ操法を披露することはありませんでしたが、1市4町の消防団及び女性防火クラブ合同での姿勢服装点検、分列行進などを行うことができました。

冬に入り乾燥期を迎えると火災が多く発生します。板倉町も例外ではなく、毎年火災が発生しています。本日の点検を目の当たりにし、改めて自分達が暮らすこの町の安全を、今日まで一緒に活動してきた団員達と共に、守っていききたいと思う一日となりました。

(執筆：第4分団)

## 猛暑の中の競技大会



## ポンプ操法競技大会

ポンプ操法競技大会は、消防団員がポンプ車を使用して、放水の技術やチームワークを競います。各分団ごとに5人1組で編成されたチームにて、設置された防火水槽から吸水し、火災現場を想定した火点と呼ばれる標的をめがけて放水、撤収するまでの一連の操作を競います。

大会には、団員の家族や関係者も多く来場し、沢山の声援が聞こえていましたが、ポンプ操法競技大会に多くの人が集まる事によって、消防団の役割や活動に対する理解を高める役割もあります。また、大会を通して消防団員同士が交流を深め、技術の向上を図っており、団員にとっても貴重な大会となっております。

(執筆：第5分団)

## 消防団活動の紹介

年間を通じて行われる様々な消防団活動のうち、主な活動を各分団から紹介します。



## みんなで守る文化財



## 重要文化財模倣火災訓練

この訓練は、国・県の重要文化財である雷電神社に火災が発生した場合を想定し、消火にいたるまでのプロセスを確認するものです。板倉消防団、板倉消防署、役場ポンプ車班、そして雷電神社の氏子の方々など、様々な団体・関係者が連携を取り合い「スペースの限られた場所でもどのように効率的な消火を行うか」ということを綿密に共有しました。

この訓練は、昭和24年1月26日に国宝の法隆寺金堂十二面壁画を焼失したことをうけ、後に「文化財予防デー」が定められたことを契機としていますが、多くの町民の方々に愛される雷電神社を守るということは、昔から続いてきた地域の歴史や文化を守るということです。

そのため、各団体・関係者の皆さまと協力し、訓練の成果を引継ぎ、かつ、文化財のみならず様々な有事に対応できる心構えを育てるということについて、その重要性は常に認識していくべきであると思われ訓練でした。

(執筆：第1分団)

## 絆を深めた夢の国



## 夢の国への家族慰安旅行

夢の国への入園料が上がり続けている昨今、家族から行きたいと言われてもなかなか連れて行く事が出来なかったディズニーランド。今年度はコロナ関連の規制も緩和され、遂に家族や消防団の仲間と共に行く事が出来ました。当日は入園するのに1時間以上並び心が折れそうになりながらも、園内でアトラクションや土産物選びを楽しんでいる子供達と奥様方が見れて、改めて消防団に入団して良かったと思いました。家族の協力あつての消防団ですので、今後も家族慰安旅行事業を継続していただき、仲間や家族の絆を深めていって欲しいと思います。(執筆：第2分団)





### 第1分団

今泉憲也さん  
大字板倉出身  
団員歴：1年

私は、幼い頃から板倉町で育ち、少しでも地域貢献したいと思っており、入団を決意しました。最初は不安な事も多くありましたが、先輩方の指導の下、多くの事を学ぶ事ができ、自分自身成長を感じる面も多くありました。



### 第2分団

塩田春樹さん  
大字板倉出身  
団員歴：1年

先輩や同期の消防団員のボランティア精神と家庭やプライベートの犠牲の上に活動が成り立っている事を、入団した事で初めて知りました。町民の皆様が安心して暮らせるために微力ながら粉骨砕身していきます。

# わが町の 消防団員紹介

## -消防団員の声-



### 第3分団

町田紀勝さん  
大字飯野出身  
団員歴：1年

入団前はあまり関心のなかった防災への意識が、防災訓練や水利点検などを通して高まりました。まだまだ、出来る事が少ないですが、先輩方にご指導いただき成長し地域の防災に少しでも貢献出来たらと思っています。



### 第4分団

関根正明さん  
大字海老瀬出身  
団員歴：1年

入団当初は、大変だという言葉聞いていたので不安でしかありませんでした。しかし、イマドキの消防団員は時間をやりくりしながら地域のために働く熱い男達だということが実際に入ってみて分かりました。



### 第5分団

内海大輔さん  
大字西岡出身  
団員歴：1年

入団当初は不安もありましたが、頼れる先輩、仲間と共に楽しく活動しています。消防団活動では多くの人との出会い、貴重な経験をさせていただきました。今後も地域に貢献でき、頼れる消防団を目標に活動していきます。



大切な人、  
大切な自分のまち  
を守りたい！

# 消防団員募集

消防団は、地域密着性、要員動員力、即時対応力などの特性を活かしながら、火災、風水害、震災等の災害対応にも大きな役割を果たしています。しかし、全国の消防団員数は毎年減少し続け、かつて200万人いた団員が今や85万人を割るという非常事態にあり、地域防災力の低下が懸念される危機的状況にあります。

**住み慣れたまちを災害から守り、次の世代が安心して暮らせるようにするため、いま、あなたの力が必要です！**



◎ お問い合わせ  
館林地区消防組合 板倉消防署  
☎ 82-1138

